



建交労

2021年9月2日 No.2

全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2021年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

各組織で総選挙決議を上げよう

政治を変えて、憲法・賃上げ・雇用を守ろう

菅内閣は、国民大多数が反対・延期を求めている7月下旬に東京五輪開催を強行し、新型コロナウイルスの感染拡大第5波を発生させました。8月には新規感染者2万人/日を突破し、緊急事態宣言を21県に広がり、重点措置は12県に適用させるなど、事態を大きく悪化させています。

一方でコロナ関連の解雇・雇止めは11万人以上となり、非正規労働者を中心に大打撃を受け、食糧難に陥った生活困窮者も各地で増え続けていますが、政府は何ら救済措置を行っていません。しかし、軍事費は過去最高を記録し、米軍戦闘機の爆買い（一機100億円以上）を止めず、辺野古新基地建設を強行しています。

さらには、後期高齢者医療制度の改悪や年金・介護制度の改悪による国民負担を押し進めています。

国民の声を聞かず、命と暮らしを守る責務を投げ捨てる菅政権は害悪でしかありません。秋には衆議院・総選挙が必ず開催されます。8月27日に中央執行委員会は、立憲野党に要求実現を求める総選挙決議（別紙）を上げました。菅自公政権を必ず打倒し、労働者・国民の声を聞いて、コロナ対策の強化、消費税5%減税などを実現させましょう。

各県本部・支部・分会でも組合員の要求や実態を寄せ合い、決議を必ず上げるようにしましょう。総選挙キャンペーンに参加し、全組合員が選挙権を行使しましょう。

新しいのちを守る署名、9.5 緊急行動に参加を コロナ対策強化を実現させよう

長期化するコロナ禍において、菅内閣は医療機関への損失補てんや人員増、公衆衛生体制の強化を怠りました。今日では、治療や入院が必要な感染者に対応できず、自宅で亡くなる、救急搬送できないケースが東京や大阪で発生しています。まさに医療崩壊です。命に順序や優劣はありません。全労連や医労連、関係団体は緊急行動を提起し、菅首相への手紙やツイッターデモ、街宣活動などを展開しています。9月からは新しいのちを守る署名にとりくんでいます。全国の仲間の皆さんご協力ください。（別紙参照）



